

10月31日、羽田、糀谷地区町会連合会各町会長による見学会が行われた。川崎市との協力もあり、船上からの予定が台風15号、19号の影響で土砂のたまり場が多く、出航を断念。バスで川崎側から臨海部と羽田空港跡地地区を結ぶ連絡道路の工事現場を見学、橋桁が

◆羽田空港跡地第一ゾーン 羽田連絡道路現場見学会



楽しいお祭りとなりました

ホームも今年4月からリフォーム工事が始まり一年間休園になりますが、また新しくなった特養で参加して皆さんの笑顔が見たいと思います。ご協力頂いた皆様、大変お疲れさまでした。



連絡道路の工事が急ピッチで進められています

◆秋の日帰りバス旅行

今年10月27日に河口湖の猿回し劇場とワイナリー見学35名参加で行いました。曇り空でしたが、雪帽子を被った富士山が折顔をみせてくれて歓声が上がりました。猿回し劇場が九州

(羽田下仲町会)

羽田空港トリア46

◆新しい国際線ターミナルが出来ます!◆

現在国際線はご存じの通り空港西側にある国際線ターミナルで運用しています。国は2020年のオリンピックパラリンピック開催に向けて、羽田の航空機の発着回数の拡大を推進しており、国際線の旅客数も増加する見込みです。

そこで国際線旅客の増加に対応するため、現在国内線として利用している第2ターミナルの南側を増築して、令和2年の3月には、その部分で国際線を受け入れるよう準備を進めています。

この増築部は4階建て床面積は約6万㎡、最上階は大きな膜構造(柱のない構造)で迫力ある大空間を演出しています。また、国際線からの乗継ぎは国際線到着階と国内線出発階が同じ2階となっていて乗継ぎが非常に便利になっています。さらに3つの搭乗口は常時国際線として利用し、加えて4つの搭乗口を国内線と国際線とで共用できる構造となっています。これを専門的にはスウィングゲートと呼んでおり、スウィング(国際国内の切替え)するゲートが4つあるというのは国内最大級です。魅力あふれるショップやレストランもオープンしますので是非新しい国際線に足を運んでみてください。

また、今後国際線旅客を扱うターミナルが2つになりますので、利用者が混乱しないよう現在の国際線ターミナルを第3ターミナルと名称変更することとしました。

さあ、お間違えないよう羽田からの海外旅行を楽しみましょう。



国土交通省東京空港事務所

何基か出来上がり、急ピッチで進めている様子が見受けられた。2020年度内完成の見通しだが、東京オリンピック・パラリンピックに間に合わないようだ。その後羽田空港跡地第一ゾーンの建築現場に移動し、複合施設や道路工事の状況など見学した。多摩川沿いに伸びる「ソラムナード羽田緑地」もでき、展望テラスや休憩施設、散策路も整備している。

猿回し劇場の様子



猿回し劇場の様子

で被災し、河口湖に移転して来たそうです。出演されたのは5才のユウジ君と3才のコウジ君です。合図に合わせて、玉乗り、竹馬、ハードル飛び越え梯子段を登り、乗って降り下るなど小さな体で必死の姿は観る人の心をとらえ大拍手の嵐でした。また、ワイナリーでは高級ワインに舌鼓、それぞれゲット。帰りのバスはカラオケで盛り上がりました。嬉しかったのは町会初参加の方々が「大満足でした」との声に皆様のご協

11月24日(日)羽田地域力推進センター1階の地域情報コーナーで「羽田ふれあい緑日」が行われ多くの方でにぎわいました。羽田地域力推進センター開所1周年を迎え新たな企画としての開催です。当日は参加町会と委員による焼きそば・ポップコーン・ゲーム・駄菓子コーナーが設けられ、昔日の羽田旧本通りでの緑日



たくさんの方にご来場いただきました

力が無事故で楽しく終えたことに感謝の思いでした。(羽田本町三丁目町会)

が再現されました。会場2階の飲食コーナーでも楽しい会話が弾んでいました。当日のアンケートに「このような町づくりから地域の連携が強化される」と記載があり継続開会へ大きな力を頂いた。緑日になりました。

◆ふれあいまつり羽田・萩中

10月20日に第8回ふれあいまつり羽田・萩中が萩中公園少年野球場で行われました。

羽田地区町会連合会主催、羽田、萩中の商店街、地域団体の協力で行われ天気にも恵まれました。91団体の参加があり会場内は大変な賑わいでした。食物コーナー、手作り品やゲームコーナー、花いっぱい運動で鉢花プレゼント、消防隊や羽田空港関係の協力もありました。ステージでは子供たちのチーム毎のダンス披露、チアリーダーや阿波踊り、グラウンドでは沖縄エイサー踊りなど披露、会場内は乳母車の家族連れや友達同士、高齢者の参加も多く盛大でした。地域



今年も多くの団体の出展がありました



前河原町会は唐揚げとフライドポテトを販売しました

で始めました。お客さんをお客さんともなく、大盛況のうちを終了しました。女性役員は自分の得意分野を心得て大変スムーズな運びとなりました。その場で揚げていたことが好評で、油を覗き込む人もいました。しかし売り上げ金の中から経費を引いた利益

のつながりが沢山見受けられ盛況の一日でした。(はばたき20編集委員会)

◆空港周遊クルーズに乗船

9月28日「空の日羽田」に羽田みらい開発(株)よりご案内のあった「空港周遊クルーズ」に乗船してきました。出航は旧

ジェット燃料置場跡の仮設棧橋から空港を左手に見ながら沖合のD滑走路近くまでの約40分のクルージングです。案内はJALで30年間パイロットをしていた方で、モニターTVを見ながら風向による離発着時の経路等いろいろな技術的説明を聞きながらのあっとい間の40分でした。空港周辺は非常に浅瀬が多く、腰まで浸かりながらフ



天候に恵まれ、とても良い景色でした

は10人もの人件費も含んでいないものでした。商売のご苦労を痛感しました。(羽田前河原町会)

◆萩中神社神楽殿落成

萩中神社ではこの度、奉祝天皇陛下御即位を記念し、社境内に神楽殿及び節分祭豆撒き舞台が完成致しました。令和元年6月30日地鎮祭・8月17日上棟式が執り行われました。



落成式が行われました

◆お年寄りと一緒に楽しいお祭りを!!

平成、令和元年も終わり、新しい年に昨年楽しかった思い出をご報告いたします。8月25日(日)特別養護老人ホームで納涼祭が行われ、松原忠義大田区長や町会長、地域の方々の見守る中、盆踊り、お囃子、獅子舞&山車&手作りのお神輿、太鼓演奏など入居者のお年寄りの笑顔と一緒に楽しい時を過ごしました。なかでも職員による「よさこいソーラン」は圧巻の迫力で身体が熱くなりました。この

11月16日(大安吉日)萩中神社氏子各位による落成式を神楽殿に於いて祝詞・お神楽奏上・舞踏披露を奉納して、お祝い致しました。今回、神楽殿(併設豆撒き舞台)新築工事を行う理由と致しまして、毎年節分祭と例大祭にはその都度、仮設舞台の工事を行っておりましたが舞台を仮設し直ぐ解体する為、後に残しませんので次世代の若者に遺したい気持ちを込め

が再現されました。会場2階の飲食コーナーでも楽しい会話が弾んでいました。当日のアンケートに「このような町づくりから地域の連携が強化される」と記載があり継続開会へ大きな力を頂いた。緑日になりました。